



2021年に6年目を迎えたJUMPでは、同年4月より第2ステージが始動いたしました。これからの5年間は「多職種連携」「死者の尊厳保護」「デジタル化の推進」という大きなテーマを中心に活動することとしております。いずれも非常に大切な事項ではあるものの、日本に現存する様々な障害によって飛躍的進歩が遂げられていないことは否めません。JUMPに関わる人たちがテーマに掲げたことへの認識を維持できるよう、私たちは微力ながらも着実に進歩してゆきたいと思っています。

未だ予断を許さないウイルスの猛威によって、私たちが思うように行動できない時間が長引いてはいますが、一方で、2年に渡るコロナ禍によって革新の必要性に気づかされ、私たちの胸にある未来への展望はますます膨らんでいます。より一層活動の場を広げてゆきたい所存でおりますので、皆様にはこれからもご指導、ご協力いただきますよう、改めてお願い申し上げます。

## JUMP 新メンバーのご紹介



神奈川県歯科医師会

山口里恵 先生

新しくお仲間に入れていただいた山口里恵と申します。神奈川県歯科医師会災害対策・警察歯科委員会に在籍していた時に東日本大震災でご遺体の身元確認に従事させていただきました。その後委員会委員長を経て、去年6月任期満了で退任いたしました。並行して考えるところあり、60歳で大学院卒業甲種博士号を取得いたしました。現在は神奈川県横浜市戸塚区歯科医師会会長を拝命しております。一生勉強だと思っておりますので今後ともよろしくお願いたします。

今年度よりJUMPディレクターを拝命しました波田野悠夏です。私は2017年より平時の身元確認に携わっております。東北大学にはデンタルファインダーの開発や、現在でも東日本大震災の犠牲者身元確認を行うなど、これまでの連続した経験があります。震災当時は他県の学部生で、何もできない自分に歯痒さを感じていましたが、JUMPの活動を通じて東日本大震災時の記録、災害時の歯科情報の大切さ、歯科医師の役割、これから起こり得る災害への準備など、皆様と考えていきたいと思っています。若輩者ではありますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。



東北大学

波田野悠夏 先生

## 2021年4月～2022年3月 活動報告

### JUMPから厚生労働省死因究明等推進本部へ死因究明等推進計画（案）へ 以下の意見を提出

1. 人材育成のための明確な予算概要の揭示
2. 多職種及び同一職種の他分野との連携及び人材育成
3. 身元不明死体候補者の医療機関からの生前記録提出システムの簡素化、もしくは円滑な開示の必要性の周知（医療機関、国保・社保関係組織も含む）
4. 専門性を重視した災害犠牲者個人識別（Disaster Victim Identification: DVI）チームの結成
5. 死後データ記録のデジタル化  
候補者の生前記録のデジタル化やデータベース化システムの早期確立の更なる推進活動

# JUMPによる学術発表

## 論文発表

- 熊谷章子, 勝村聖子, 岡 広子, 大林由美子, 小菅栄子, 斉藤久子. International Congress of Mass Disaster (CIDEM) projectによる大規模災害訓練に参加して. Forensic Dental Science 14巻1号, 16-19, 2021年.
- 咲間彩香, 斉藤久子, 勝村聖子, 熊谷章子, 岡 広子, 本村あゆみ, 岩瀬博太郎. 日本の災害時において歯科身元判明率が向上しない要因に関する検討. 日本災害医学会誌 26巻1号, 1-10, 2021年.
- M. Kosaka, Y. Hatano, KieYoshida, K. Tsogtsaikhan, I. Kuruppuarachchige, T. Suzuki. Analysis on unidentified cases in which dental information was collected from 2014 to 2019 in Miyagi Prefecture, Japan. Legal Medicine (55) 2022.

## 学会発表

- 第27回日本災害医学会総会・学術集会 (2022年3月 広島)  
勝村聖子 他. 遺体安置所内での感染症対策課における災害机上訓練  
熊谷章子 他. 「死」関わる災害対応者のための訓練モデル構築への取り組み

## レクチャー・セミナー

2021年7月11日 (日) JUMP後援

### インターポールDVIプロトコルオンラインレクチャー (Zoom配信)

イタリア、インド、インドネシアから法病理、指紋、法歯学の有識者にご講演いただき、インターポールDVIプロトコルに基づいた海外での災害犠牲者対応についてお話を伺いました。日本からは約80名の方々にオンラインでご視聴いただきました。

2022年3月20日 (日) JUMP企画セミナー

### 災害対応者によるところへの支援、災害対応者のところへの支援 (岩手教育会館 Zoom配信)

日本DMORT副理事長 村上典子先生、岩手DPAT総括医師 大塚耕太郎先生というご高名な先生方を講師としてお招きすることができました。



会場参加された皆様

**インターポールDVIプロトコルによる災害犠牲者個人識別**  
Disaster Victim Identification (DVI) and Unidentified Missing Persons Identification (UMPI) of INTERPOL DVI PROTOCOL  
**オンラインレクチャー (Zoom配信)**  
Online Lecture with Zoom  
2021年7月11日 (日) 13時~16時30分  
登録費 3,000円

**講師 Lecturers**

- Dr. Evi Untoro (法病理学者)  
Sentra Medika Cibinong Hospital & Funeral Home of Cibinong - Bogor (Indonesia)
- Dr. Ranjeet Singh (法科学者 Fingerprint expert)  
Sherlock Institute of Forensic Science of Delhi (India)
- Prof. Dr. Emílio Nuzzolese (法歯学者)  
Head of human identification laboratory  
University of Turin (Italy)

**内容 (日本語字幕付)**

- DVIプロトコルの概要 Outline of DVI protocol (15 min)
- 各専門領域の解説 Explanations of each technical field
- 法医病理 Forensic Pathology (30 min)
- 指紋分析 Fingerprint Analyses (60 min)
- 法医歯科 Forensic Odontology (90 min)

登録方法: [dvi-japan@gmail.com](mailto:dvi-japan@gmail.com) への参加者氏名およびメールアドレスの送信と下記への登録費 3,000円の振込をもって受付完了といたします (6月30日締切)

岩手銀行 矢巾支店 (店番 199) 口座番号 普通 2153422  
DVI Workshop in Kyoto (デービーアイワークショップインキョウト) 代表 熊谷章子  
ご登録いただいた方には約1週間前に視聴URLと当日のスケジュールをご案内いたします。

主催: 岩手医科大学法科学講座 問い合わせ先: 岩手医科大学法科学講座  
後援: 日本法医学会 一般社団法人 日本DMORT 副理事長  
日本法歯科医学会 法歯学・災害口腔医学分野  
日本法医病理学会 熊谷章子  
JUMP email: [kumagaia@iwate-med.ac.jp](mailto:kumagaia@iwate-med.ac.jp)

JUMP企画セミナー  
**災害対応者によるところへの支援  
災害対応者のところへの支援**  
参加無料

日時 2022年 3月20日 (日) 12:30 - 16:00 (12:00 受付開始)  
会場 岩手教育会館 2階 ホールB  
〒020-0022 岩手県盛岡市大通1丁目1-16 TEL: 019-623-3301

会場の様子をライブ配信します。  
詳細は開催1週間までにJUMP Facebook ([https://www.facebook.com/identity\\_jump/](https://www.facebook.com/identity_jump/))に掲載します。

**プログラム**

- 12:30 - 13:00 プロローグ, non-lenser のご紹介, 他
- 13:10 - 14:10 講演 1  
講師 村上 典子 先生  
一般社団法人 日本DMORT 副理事長  
神戸赤十字病院 心療内科 部長
- 14:20 - 15:20 講演 2  
講師 大塚 耕太郎 先生  
岩手DPAT総括医師  
岩手医科大学 医学部 精神神経科学講座 教授
- 15:30 - 16:00 講演 3  
講師 熊谷 章子 先生  
JUMP (Japanese Unidentified and Missing Persons Response Team) 代表
- 17:00 - 懇親会 (状況によって中止となる場合がございます)

✓ 体調不良を自覚されている方は、会場参加をご遠慮いただけますようお願いいたします。  
✓ 入場の際、新型コロナウイルスワクチン接種証明書もしくはPCR検査陰性証明書をご提示いただく場合がございます。  
✓ 会場参加の皆様には、マスクの着用を義務づけさせていただく予定ですのでご了承ください。

お問い合わせ: 岩手医科大学法歯学・災害口腔医学分野 熊谷章子  
email: [kumagaia@iwate-med.ac.jp](mailto:kumagaia@iwate-med.ac.jp)

## 2022年4月～2023年3月 関連行事のお知らせ

### • 日本法歯科医学会第16回学術大会

2022年5月15日（日） 神奈川歯科大学附属横浜クリニック  
主幹：神奈川歯科大学歯学部社会歯科学系法医学講座歯科法医学分野

### • 第19回警察歯科医会全国大会

2022年8月6日（土）  
主幹：大阪府歯科医師会

### • Association Forensic Odontology for Human Rights Japan Meeting

2022年11月13日（日） トラストシティカンファレンス京橋  
主幹：JUMP \*外国人観光客受入不可の場合、外国人講師による講演はオンラインとなります

### • 日本災害医学会総会・学術集会

2023年3月9日（木）～11日（土） アイーナいわて県民情報交流センター、他  
主幹：岩手医科大学救急・災害・総合医学講座災害医学分野

## 2021年1月～2022年3月 世界の主な災害

### 2021年

- 2月 1日～ ミャンマークーデター抗議デモ 国軍による弾圧の犠牲者は1,000人以上
- 2月13日 福島県沖地震 M7.3 最大震度6強 気象庁は2011年東日本大震災の余震と推定
- 6月24日 マイアミ住居ビル崩壊 1か月で犠牲者全ての身元確認終了 事故原因は未だ解明されず
- 7月 1日～ 神奈川県、静岡県集中豪雨 7月3日 熱海市では土石流による多数死傷者発生
- 7月15日～ 西欧諸国豪雨 ライン川支流のアール川氾濫がドイツとベルギーを中心に被害をもたらした
- 8月 3日～ ギリシャ山林火災 記録的な熱波が原因 数千人の住民が避難
- 8月11日～ 四国、九州集中豪雨 広域にわたって大雨による被害をもたらした
- 8月14日 ハイチ地震 M7.2 死者約2,000人 負傷者約10,000人 ハイチは2020年にも甚大な地震被害あり
- 8月26日 アフガニスタン爆破テロ 米兵が犠牲 IS組織が犯行声明 後にバイデン大統領報復を指示
- 9月 1日 ニューヨーク大規模洪水 ハリケーン「アイダ」による 地下鉄構内にも濁流が流れ込んだ
- 12月10日～ 米南部、中西部竜巻発生 極寒の中停電が続いた バイデン大統領は大規模災害宣言を発令
- 12月17日 大阪ビル放火事件 26人が犠牲となり、後に容疑者も死亡
- 12月～ 世界的な新型コロナウイルス変異株オミクロン蔓延 年明けには日本でも一気に蔓延

### 2022年

- 1月15日 トンガ沖海底火山噴火 その翌日8,000km離れた日本にも津波警報・注意報が発令
- 2月24日 ロシアがウクライナに軍事侵攻 両国間の戦闘によって多くの市民も犠牲となった
- 3月18日 福島県沖地震 M7.3 最大震度6強 この2日後には岩手沖地震発生 M5.6 最大震度5強

自然、人為に限らず、この1年に起こった災害を思いつくままに挙げたのですが、毎年多くの犠牲者が発生しているのを改めて痛感します。ロシアによるウクライナ軍事侵攻もとうとう始まってしまいました。死者はもちろん遺族のために、その対応者による賢明な努力の話を目にするのですが、中でも自然災害は皆無だと思っていたドイツ、ベルギーで大雨に伴う川の氾濫が起こり、多くの方々が犠牲となってしまったことには大きなショックを受けました。この災害は世界的異常気象が影響していると考えられており、それは今後の未来にも異なる形で災害をもたらすことが懸念されます。

2021年には東京オリンピック・パラリンピックをやり遂げ、ウィズコロナを意識しながら徐々に社会が動き出している日本、我々も気を抜かず様々な禍に備える精神を忘れずにいましょう。

## 豆知識のコーナー

### 陸の警察と海の警察

海に囲まれた島国日本、私たちの安全は陸の警察の方々にはもちろん、海の警察である海上保安庁の方々にも守られています。海上保安庁は地方支分部局として全国に十一管区の海上保本部を設置しており、東北の第二管区には七つの海上保安部と一つの航空基地、そして三つの海上保安署が各県の海を守っています。同じ海と言えども、ロシアにほど近い北海道の第一管区、北朝鮮側に面する日本海側の第二、八、九管区、多くの島が点在する第六、七管区、南海トラフ地震による大きな被害が危惧される第三、四、五、六、十管区、そして美しい沖縄の海を守る第十一管区など、場所が異なれば発生する事案やその対応内容も多岐にわたることでしょう。

私が以前から気になっていたのは、陸と海の境界線はどこなのかということでした。釜石海上保安部によると、海上保安庁の原則では、海と陸の境界線は「海岸線」で、日本の海図では潮が一番引いた時の「最低水面」をその「海岸線」としているそうです。境界の定義はあるようですが、「海岸線」付近で発生した事件、事故については警察、消防、海上保安庁が共に連携協力し、東日本大震災のような惨事が起こった際には、自衛隊も加わり、人命の救出救助や遺体の捜索等がなされています。

警察法があるように海上保安庁法が存在します。それによると海上保安庁は国土交通省の外局という立場にあるようで、この辺りが警察とは異なります。とはいうものの「安全と秩序の維持」「治安の確保」を図ることを任務とすることには変わりありません。私たちが日本で安心して暮らせることを当たり前前に感じてしまっているのは、そのための職務にあたる皆様のおかげなのです。日ごろから敬意を表し感謝する心を忘れたくないものです。



第二管区海上保安本部仙台航空基地 機動救難士の活動の様子  
(提供：釜石海上保安部警備救難課 菅野浩幸 様)

**海での「事件・事故」は 118 番**